

2017年2月14日
ペトロナス工科大学
株式会社日立製作所
日立アジア社

ペトロナス工科大学と日立が、 光トポグラフィを中心とした脳科学応用に関する国際共同研究の推進拠点を開設



マレーシアにおける拠点設立合意セレモニー

(中央左:ペトロナス工科大学 Abdul Rahim Hashim 副学長、中央右:日立製作所 鈴木教洋執行役常務)

ペトロナス工科大学(Universiti Teknologi PETRONAS、マレーシア、学長:Tun Abdullah Ahmad Badawi/以下、UTP)、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)、ならびに日立アジア社は、光トポグラフィ*1を中心とした脳科学応用の国際共同研究を推進するための拠点(以下、OT-Hub*2)を UTP の研究センターである CISIR*3 内に開設することを、2月13日に合意しました。OT-Hub は、脳科学応用の国際共同研究の推進拠点としては、日本国外では初めてであり、今後、日立による技術協力のもと、大学、病院、企業などとの脳科学応用に関する共同研究を促進し、オープンイノベーションを加速します。UTP、日立および日立アジア社は、OT-Hub を通じてさまざまなパートナーと協創を行うことで、医学、教育などの分野における社会課題解決をめざしていきます。

UTP と日立および日立アジア社は 2013 年より共同研究を開始し、マレーシアに初めて光トポグラフィを導入しました。光トポグラフィは、日常空間でも簡便に脳機能計測ができる装置として、医療、教育、産業などさまざまな分野に応用することで QoL(Quality of Life)向上に貢献することが期待されています。これを実現するためには、多種多様な分野の研究機関や企業が協力して、新たなソリューションの開発や検証を行うことが必要です。

そこで UTP、日立および日立アジア社は、UTP CISIR 内に OT-Hub を設立することで合意しました。OT-Hub では、これまでの共同研究により得られた技術や知見だけでなく、日立が培ってきた最新の光トポグラフィ技術や脳科学応用技術をさまざまな協創パートナーと共有しながら、共同研究を推進していきます。

ペトロナス工科大学 Abdul Rahim Hashim 副学長のコメント

「UTP では、基礎研究だけでなく実用化に向けた研究開発にも注力することで、社会への貢献をめざしています。今回の日立との協創は、脳科学応用研究における UTP の強みと可能性を拓けるものであり、嬉しく思います。今後 OT-Hub は、研究や臨床コミュニティの改善と、国際的なプレゼンスの向上に寄与するでしょう。マレーシアをリードする私立大学として、UTP が今回この機会を頂けたことを光栄に感じます。」

日立製作所 鈴木教洋執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長のコメント

「日立は、科学技術の革新を通じて社会のさまざまな課題を解決することで、経済成長と QoL 向上への貢献をめざしています。そのためには、人間を理解し、人間中心、すなわち人々の幸福を高める技術を開発することが重要であり、今回設立された OT-Hub が、脳科学応用の専門知識を集約し発信する、重要な役割を果たす場になると確信しています。」

■日立における脳科学応用の研究開発

<http://www.hitachi.co.jp/rd/portal/highlight/brain/index.html>

- *1 光トポグラフィ:日立が開発した、生体を傷つけずに脳機能を画像化する技術。
- *2 OT-Hub: Optical Topography Hub の略。今回開設した、光トポグラフィの共同研究を推進する組織。
- *3 CISIR: Centre for Intelligent Signal and Imaging Research の略。インテリジェントシグナル・イメージング(神経などの生体医療信号の解析)研究を行う UTP の研究センター。国際的、横断的な活動を目標としている。

■照会先

株式会社日立製作所 研究開発グループ 研究管理部 [担当:小平、安井]
〒185-8601 東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目 280 番地
電話:042-323-1111(代表)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
